

特集 いきいきと暮らせる!長寿を楽しめる! ~長寿安心くまもとの実現を目指して~

〈地域で支える!〉

いつまでも住み慣れた地域でイキイキと! ~地域の縁がわづくり~

年をとっても、愛着ある家を離れることなく安心して暮らしたい。そんな高齢者を地域の力で応援するのが「地域の縁がわ」。山都町にある地域の縁がわ、小規模多機能ホーム『こころ』の取り組みをご紹介します。

ユニークな取り組みで、高齢者の元気をつくる



NPO法人 ボランティアネットワーク 理事長 佐藤 豊さん (山都町)

今も運動場に響く、子どもたちの元気な声。『こころ』は、平成17年に廃校になった小学校を利用した「地域の縁がわ」で、約25人の高齢者が利用されています。

「利用者は朝早く来ても、夜遅く来ても、その日突然に宿泊になってもOKです」。そう語るの、『こころ』を運営するNPO代表の佐藤さん。サービスは利用者自身や家族に合わせ、決まりごとを作らないようにしています。

ユニークな取り組みの一つが、「自給自足」を目指した畑づくり。『こころ』利用者は、長年農業をやってきた高齢者が多く、種まき時期など、的確な指示をしてくれます。

畑の作物は、近隣農家の皆さんと協力し、加工して販売。利益が出ればみんなで芝居に出掛けることもあります。

「介護が必要な方が自分でいろいろできるようになった時などにやりがいを感じます。これからは、高齢者が安心してイキイキと暮らせる地域づくりに取り組みます。」と力強く語ってくれました。



県では、さまざまな主体による地域福祉の拠点づくりを進めます。

Table with 2 columns: 地域縁がわ個所数, H20年度/181個所, H23年度(目標)/500個所

地域全体で高齢者を支える仕組みづくり

〈医療・介護サービスで支える!〉

認知症対策を総合的に推進します ~熊本発の新たなモデルの創造~

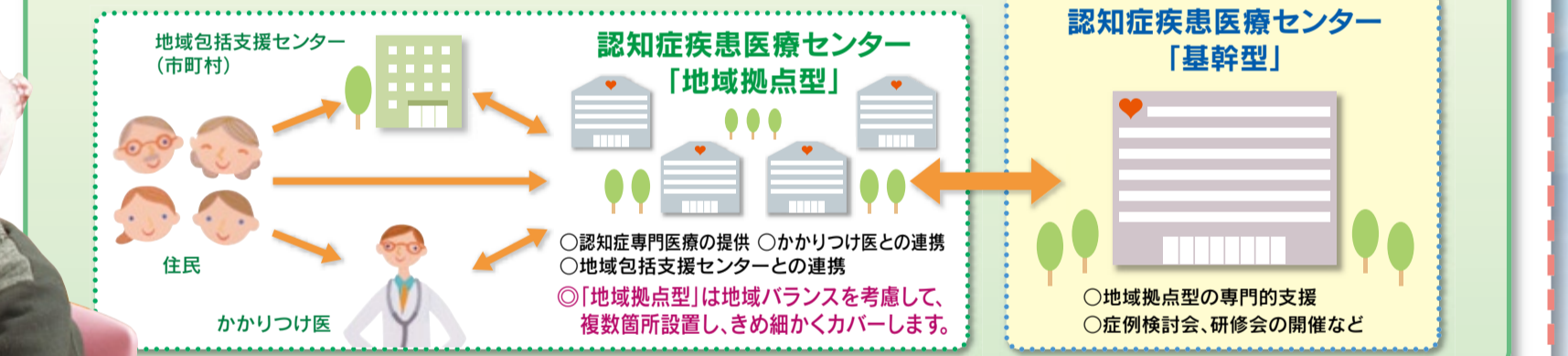
2010(H22)年には、県内の認知症高齢者は約5万人に達すると見込まれています。そこで、県では、認知症対策について、以下の3つの柱を立てて総合的に進めていくことにしています。

Table showing dementia statistics for H17, H19, H22, H27, H32 across national and prefectural levels.



「熊本モデル」で認知症疾患医療センターを整備します

認知症の早期診断や診療体制を充実するために、地域での拠点機能を担う「地域拠点型」と、県全体を統括する「基幹型」の2層構造(「熊本モデル」として、整備することとしています。



広がれ!認知症サポーター ~地域における支援体制づくり~

認知症サポーターとは、認知症に関する正しい知識と理解を持ち、地域などで認知症の人やその家族を支援する人のことです。

県や市町村などで実施する「認知症サポーター養成講座」を受講すると、サポーターの証として「オレンジリング」が渡されます。



私もサポーターです。知事としては全国初! 「オレンジリング」は認知症サポーターの証し



やまが認知症サポーターリーダー 福山 壽子さん (山鹿市)

自分にできることを一つずつ

自分自身が認知症の家族を介護する中で、認知症のことはもちろん、介護者の気持ちも周囲の人に理解してほしいと、山鹿市認定の「認知症サポーターリーダー」となりました。近所のお年寄りや介護者の方たちと「縁がわ」でのおしゃべりを通して支え合うことができると、月に1度自宅を開放しています。

また、肥後にわかのか「せからしか劇団」を立ち上げ、楽しい劇で笑ってもらいながら、認知症への理解を深める活動も行っています。今後とも、無理をせずに、自分にできることを自分が楽しんでやるということをモットーに頑張っていきます。

お問い合わせ先/健康福祉政策課福祉のまちづくり室 ☎ 096-333-2201 FAX 096-387-5992 電子メール kenkoufukushi@pref.kumamoto.lg.jp

お問い合わせ先/高齢者支援総室 ☎ 096-333-2216 FAX 096-384-5052 電子メール koureshien@pref.kumamoto.lg.jp

*認知症とは、いろいろな原因で脳の細胞が死んでしまったり、働きが悪くなったためにさまざまな障がいが起こり、生活するうえで支障が出ている状態を指します。

Advertisement for the new Kumamoto Shinkansen line, featuring SL revival and local tourism information.

Advertisement for business plan competitions and educational programs, including 'Dream Step' and 'Kumamoto Dream Bridge'.